

内閣官房及び内閣法制局・内閣府本府入札等監視委員会

令和3年度第2回（第43回）合同会議議事概要

開催日及び場所	令和3年11月25日（木） WEB会議
委員	委員長 國廣 正（弁護士） 委員 今井 猛嘉（法政大学大学院法務研究科教授） 委員 大森 明（横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授） 委員 寺田 麻佑（国際基督教大学大学院アーツ・サイエンス研究科准教授） 委員 長岡 美奈（公認会計士）
議事	○令和3年度第1四半期の契約に係る審議

○令和3年度第1四半期の契約に係る審議			
審議対象期間	令和3年4月1日～令和3年6月30日		
対象案件の説明	○対象期間における契約の全体（内閣官房190件・内閣法制局3件・内閣府本府548件）について事務局から説明 ○審議案件抽出等の考え方について当番委員から説明 抽出にあたっての関心事項 ・低入札となった案件について、理由を確認する。 ・1者応札かつ高落札率となった案件について、理由を確認する。 さらに以下の観点から各案件を絞込みを行った。		
審議抽出案件	3件		
【一般競争入札】 総合評価落札方式	<table border="1"> <tr> <td>(官房) 1件 (関心事項) ・高落札率の理由は ・一者応札の理由は</td> <td> 契約件名：令和3年度 横断的リスク評価に基づいた重要サービス事業者等のサイバーセキュリティ対策の実施状況の調査等業務 契約相手：PwCコンサルティング合同会社 契約金額：130,900,000円 契約日：令和3年4月1日 担当部局：内閣サイバーセキュリティセンター </td> </tr> </table>	(官房) 1件 (関心事項) ・高落札率の理由は ・一者応札の理由は	契約件名：令和3年度 横断的リスク評価に基づいた重要サービス事業者等のサイバーセキュリティ対策の実施状況の調査等業務 契約相手：PwCコンサルティング合同会社 契約金額：130,900,000円 契約日：令和3年4月1日 担当部局：内閣サイバーセキュリティセンター
(官房) 1件 (関心事項) ・高落札率の理由は ・一者応札の理由は	契約件名：令和3年度 横断的リスク評価に基づいた重要サービス事業者等のサイバーセキュリティ対策の実施状況の調査等業務 契約相手：PwCコンサルティング合同会社 契約金額：130,900,000円 契約日：令和3年4月1日 担当部局：内閣サイバーセキュリティセンター		
【一般競争入札】 最低価格落札方式	<table border="1"> <tr> <td>(府) 1件 (関心事項) ・1者応札が続いている理由は ・随意契約への移行は可能か</td> <td> 契約件名：令和3年度中央防災無線網災害現地通信運用支援等業務 契約相手：(一社)建設電気技術協会 落札金額：133,100,000円 契約日：令和3年4月1日 担当部局：政策統括官（防災担当） </td> </tr> </table>	(府) 1件 (関心事項) ・1者応札が続いている理由は ・随意契約への移行は可能か	契約件名：令和3年度中央防災無線網災害現地通信運用支援等業務 契約相手：(一社)建設電気技術協会 落札金額：133,100,000円 契約日：令和3年4月1日 担当部局：政策統括官（防災担当）
(府) 1件 (関心事項) ・1者応札が続いている理由は ・随意契約への移行は可能か	契約件名：令和3年度中央防災無線網災害現地通信運用支援等業務 契約相手：(一社)建設電気技術協会 落札金額：133,100,000円 契約日：令和3年4月1日 担当部局：政策統括官（防災担当）		
【一般競争入札】 総合評価落札方式	<table border="1"> <tr> <td>(府) 1件 (関心事項) ・低入札調査による確認内容は ・実際の業務の履行状況は</td> <td> 契約件名：スーパーシティ構想の規制改革に関する調査業務 契約相手：(株)ライズ・コンサルティング・グループ 契約金額：3,355,000円 契約日：令和3年6月9日 担当部局：地方創生推進事務局 </td> </tr> </table>	(府) 1件 (関心事項) ・低入札調査による確認内容は ・実際の業務の履行状況は	契約件名：スーパーシティ構想の規制改革に関する調査業務 契約相手：(株)ライズ・コンサルティング・グループ 契約金額：3,355,000円 契約日：令和3年6月9日 担当部局：地方創生推進事務局
(府) 1件 (関心事項) ・低入札調査による確認内容は ・実際の業務の履行状況は	契約件名：スーパーシティ構想の規制改革に関する調査業務 契約相手：(株)ライズ・コンサルティング・グループ 契約金額：3,355,000円 契約日：令和3年6月9日 担当部局：地方創生推進事務局		

委員からの意見・質問 それに対する回答等	別紙のとおり
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし

○その他

意見・質問	回答
1 令和3年度 横断的リスク評価に基づいた重要サービス事業者等のサイバーセキュリティ対策の実施状況の調査等業務	
<p>継続案件としてオリンピック開催の準備段階から始まっているが、過去の入札状況について確認したい。 また、今回、1者応札となった要因、高落札率となった要因についてはどのように考えているか。</p>	<p>今年度が4年度目の取組であり、初年度、2年度目は2者応札。3年度目以降は1者応札で、2年度目を除きPwCコンサルティング合同会社が落札している。 1者応札については、継続性の観点や、今年度はオリンピック開催前に調査を終わらせることとしたこともあり、契約期間の観点からも新規参入には躊躇があったのではないかと考えている。 高落札率については、PwCコンサルティングが過去の実績から今年度の規模感のある程度予想できたのではないかと考えている。</p>
<p>今回が4年度目となるが、これまでの調査のフォローアップも含め複数年度の契約とした方が効率的だとも思われるがそうした点について検討はされたのか。</p>	<p>調査開始の当初から4年度程度にわたる事業と考えていたが、単年度ごとに区切った方が、より競争性が働くものと考えて調達を行っている。</p>
2 令和3年度中央防災無線網災害現地通信運用支援等業務	
<p>国民の安全に関するものであり、一般競争入札をして毎回業者が変わることが望ましいと言えない場合もある。 経験によって得られる対応能力の蓄積というものもあると思うが、他の調達方法への移行は考えられないか。</p>	<p>令和4年度の調達においては、仕様書を見直す余地があるため、一般競争入札を考えているが、相変わらず1者応札が続くようであれば、次のステップとして公募随契への移行も検討して行きたい。</p>
<p>危機管理の観点から、仕様書の見直しに当たっては、事業に必要な要件まで緩和するといったことにならないよう留意されたい。</p>	<p>必要な機能・要件については当然緩和できないと考えている。しっかり吟味した上で要件を設定して行きたい。</p>
3 スーパーシティ構想の規制改革に関する調査業務	
<p>低入札に係る説明では、戦略的投資案件として応札したとあるが、今後につながる案件、履歴となる案件として入札されたのか。</p>	<p>DX系の仕事が増えているコンサル業界において、スーパーシティという国として積極的に取り組んでいるDX関係の施策に関する調査を受託したかったのではないかと推測している。</p>
<p>価格的には相当無理をしているようだが、成果物は相応の水準を満たしているのか。</p>	<p>(契約履行中ではあるが、)各省と議論を進めるための基礎資料として、エネルギーや交通分野等の規制改革の内容について調査が適切になされていると評価している。</p>
○その他	
<p>令和3年度第1回(第42回)合同会議抽出案件「デジタル改革共創プラットフォーム」コミュニケーションサイトの構築業務について、契約の相手方である(株)両備システムズより、入札に関する経緯等についてヒアリングを行った。</p>	